

不登校の児童生徒への支援考えよう

17日 都城キャンパスでシンポジウム

南九州大学(学長 中瀬昌之)は、不登校の児童生徒との向き合い方や学習支援の在り方を考えるシンポジウムを下記の通り実施いたします。不登校や発達障害の子どもたちをサポートできる人材育成に取り組んでいる本学として、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境づくりについて地域と一緒に考えを深めていくことが不可欠と捉えています。今回は、教育、行政、メディアから登壇者をお招きし、様々な視点から子どもたちの多様な学びや支援の在り方についてお話をさせていただきます。この機会にぜひ、多くの皆さまに聴講いただけますと幸いです。

つきましては、事前のお知らせと、当日の様子もぜひ取材していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

日時 2024年8月17日(土) 午前9時半～午後12時45分

場所 南九州大学 都城キャンパス 1101教室

〒885-0035 都城市立野町 3764 番地1

備考 参加無料(要申し込み)、詳しくは、別添資料をご覧ください。

■当日のスケジュール

- 9:30～ 受け付け
9:50～ 開会式
10:00～ <第一部>
*高校生たちによるポスター発表
11:10～ <第二部>
*南九州大学人間発達学部チーム「なないろ」
による取り組み発表
11:20～ *シンポジウム登壇者による取り組み発表
12:00～ 質疑応答、フリートーク

■シンポジウム登壇者

内田 芳夫氏
NPO 法人どんぐり自然学校理事
鹿児島大名誉教授

三輪 誠氏
宮崎日日新聞社都城支社長
兼論説委員会委員

甲斐 裕之氏
都城市教育委員会学校教育課指導主事

■全国の不登校児童生徒を取り巻く状況など

令和4年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、小・中学校の不登校児童生徒数は約30万人、うち学校内外で相談や指導などを受けていない子どもたちは、約11万4000人といずれも過去最多となりました。国は「誰一人取り残されない学びの保証に向けた不登校対策」を2023年度に取りまとめ、不登校児童生徒が学びたいと思った時に学びへとつなげるための受け皿づくりをより一層進める必要性を訴えています。こうした状況を踏まえ、「青空ラボ」で不登校児童生徒の支援活動を行っている本学としても、本シンポジウムを通じて、学生自身の学びを深めるとともに参加者の理解啓発を図りたいと考えています。なお、本シンポジウムは宮崎県人権開発推進協議会からの委託事業です。

【本件に関するお問い合わせ】

南九州大学 子ども教育学科 川田
〒885-0035 都城市立野町 3764 番地1
TEL :0986-21-2111 (代表番号)

【発信元】

南九州大学 経営戦略課
〒880-0032 宮崎市霧島5丁目1番地2
メール:koho@nankyudai.ac.jp